



ひとこと解説

辞書はヒントを与えてくれますが、答えは与えてくれません。用例に向き合い、自分の力で「意味」を見出す日本語学の醍醐味を感じてほしいと思います。

## 変な日本語に気が付いたその先…説明できる力を身につけます。



では、なぜ「ここがどこ?」が変で「ここはどこ?」ならOKなのでしょう? 絶対的な答えはありませんが、日本語学ではより最適な説明を目指します。例えば、話し手がすでに知っている情報には「は」が付き、知らない情報には「が」が付くという説明の仕方があります。この場合、「ここ」は今自分がいる場所とわかっており、「どこ」かはわかっていないので、「ここ」の後には「は」が付く、と説明できます。このように、日本語を自分の言語としている人はみんな「は」と「が」を直感的に使い分けますが、説明することはほとんどできません。日本語学を学ぶ学生には、日本語の様々な現象について、その特徴を調べ、分析し、説明する力を身につけてほしいと思います。



田和 真紀子 准教授

●たわ・まきこ  
1976年神奈川県生まれ。東京都立大学大学院博士課程修了。博士(文学)。専門は日本語学。主要論文に「評価的な程度副詞の成立と展開」(『近代語研究』第16集、2012年)他、著書に『日本語程度副詞体系の変遷—古代語から近代語へ—』(勉誠出版、2017年)がある。



田和先生って  
どんな先生?

- ◆癒し系 ◆話し方と声が優しい ◆温和 ◆穏やか。先生が怒っている所を見たことはありません。 ◆学生目線に立って下さる。 ◆絶対ほめてくれるところ! ◆よく話しかけて下さるところ。いつも気にかけて下さっているのが感じられる。 ◆学生を否定することなく、受けとめて下さる。 ◆学業だけではなく、進路のことまで親身になって下さいました。 ◆就活で行き詰まっていたらあなたはもう働く人の顔になってるから大丈夫だと背中を押して下さいました(涙) ◆家族思い&学生思い

[回答:田和先生ゼミナール生]